



取組

みゆき屋台村



イベント

❖取組を開始したきっかけ

戦後、トヨタ自動車の工場建設に伴い、各商店が周辺に集まり、街らしくなっていった、それがみゆき商店街である。

愛知環状鉄道の三河豊田駅南側に位置するみゆき商店街は、トヨタ自動車本社工場に近接している。商店街の近隣にはマンションも点在し、人口が多い地区でもある。



近接するトヨタ自動車本社工場

更に、当商店街の最寄り駅である三河豊田駅の乗降客数は多く、1日におよそ1万人にもなる。しかし、残念ながら駅の乗降客で、商店街を利用する人は少ない状況だ。

もともと当商店街の取組は、夏まつりや年末セール等のイベントくらいしかなかったが、最寄り駅の乗降客の多さを、商店街の活気に繋げない手はないということで新事業の企画の検討が始まることになる。

そして、駅の乗降客の大多数を占めるサラリーマンをターゲットにした、お酒を含む飲食を提供するイベントが企画されることとなった。それが「みゆき屋台村」である。

取組の概要 >>>>

「第1回みゆき屋台村」は平成21年に実施された。みゆき屋台村は商店街の店舗で仕入れた食材を使って屋台を出店し販売するイベントであり、屋台村の集客を商店街の個店(飲食店)へ誘導し、顧客の確保と個店の魅力アップを図るのが目的だ。手軽に食べられる串焼き、焼きそば、カレーライス、おでん等を販売しており、買った食べ物はそのまま外で食べる事が出来るよう食事用のスペースも用意されている。当初、イベントは商店街の組合員が出店して、簡単に作れるものを販売するだけであったが、現在では居酒屋等も5店舗ほど出店するようになり、100坪ほどの会場に屋台が所狭しと並ぶ様子は、まさに「屋台村」だ。

年に三回程度開かれるこのイベントは大好評で、一回につき1,000名程度の集客がある。開催される曜日によって客層が異なり、平日はターゲットである会社帰りのサラリーマンが中心、休日は家族連れの近隣住民が多い傾向が見られる。また、リピーターも多く、来客者から「次はいつ開かれるの?」との問い合わせもある。

平成25年8月のみゆき夏まつりにおいて開催した屋台村では、事前にチャリティ・バザールを行い募金を集めた。これは、24時間テレビ「愛は地球を救う!」(中京テ

レビ放送)とのコラボレーションによるもので、マスコミを巻き込んだ盛況なイベントとなった。屋台村では楽しい演芸など毎回新しい企画を実施し、子どもやファミリー層、若いカップルを対象とした魅力あるイベントを行うことにより、幅広い客層を集め、より多くの集客を得ることができた。



こだわりポイント!

みゆき屋台村は元々、「会社帰りにふらっと立ち寄れる様な場所」を目指して行われたイベントなので、気軽に楽しく寛げる雰囲気を作る事に力を入れている。今後、雰囲気作りの一環として会場わきの壁に、プロジェクターで映像を流すなど、リピーターを増やす仕掛けを取り入れる予定だ。



サラリーマンや家族連れも楽しめる

❖取組の効果・課題等

みゆき屋台村をきっかけに商店街の個店の名前を覚えてくれた人もおり、少しずつではあるが商店街の利用客も増えて来ている。また、イベントを通じて商店街の組合員の結束も強まった。そして何より、みゆき屋台村は地域住民との貴重な交流の場になっている。

しかし、みゆき屋台村の運営をしているみゆき商店街の中心となる世代が50代であり、世代交代の時期を迎えようとしている。そのため、今後は組織に若い人材を入れ、新しいアイデアを積極的に取り入れつつ、より魅力的で活気溢れる商店街作りを目指していく必要がある。

そして、みゆき商店街のキャッチフレーズ「チョットより

みち みゆき商店街」にあるように、今後はイベントだけでなく、みゆき商店街自体が寄り道感覚で利用してもらえる商店街となることが望まれる。



駅の乗降客の大多数を占めるサラリーマン

商店街DATA みゆき商店街振興組合

所在地 ● 豊田市御幸本町1-140 アクセス ● 愛知環状鉄道三河豊田駅 徒歩1分 設立年月日 ● 平成6年5月13日 組合員数 ● 31名
代表者 ● 近藤 良実 TEL ● (0565)29-5229